

生産性向上・業務効率化

紙とExcelからの脱却 伝票処理を効率化

オフィスソリューション DX/ITソリューション



鈴与商事株式会社 会社HP



鈴与商事株式会社

小澤 健人さま / デジタルソリューション営業部 課長

柴田 剛志さま / オフィスソリューション営業部 課長

佐藤 理奈さま / 業務課

萩原 達也さま / 業務課(システム作成者)

業種

土木・建設業 製造業 電気・ガス・熱供給 情報通信業 物流・運輸業
卸売業・小売業 サービス業

活用用途 伝票・申請業務の効率化

導入前の状況

1. 営業担当がExcelで伝票を作成し、紙印刷 → 課長承認 → 業務入力という煩雑な流れが発生していた。
2. 商品コードの入力ミスや項目漏れ、手書き修正が頻発し、データ整合性が崩れ確認・差戻し作業が大きな負担となっていた。
3. 紙の伝票は月1,000枚以上、保管・廃棄コストも発生。承認作業が遅れ、現場のストレスも増大していた。

要件や選定の決め手

1. Excelライクな操作性で、現場主導で短期間（1～2週間）でアプリを開発できる。
2. クラウドで一元管理が可能で、入力・承認・履歴の追跡性を高められる。
3. グループ内での展開やカスタマイズ性に優れており、他部署にも横展開できる拡張性がある。

導入による効果

1. 伝票入力・承認フローをCELf上で一本化し、入力ミスや二重作業が削減。承認・履歴管理も効率化。
2. 紙出力・保管が不要となり、紙代・印刷代で月数万円規模を削減。
3. 作業時間は伝票1枚あたり3分削減、月300枚で約15時間／月の削減効果。業務効率と正確性が大幅に向上した。

DX推進で業務効率化を支える経理部門

ー[インタビュー] 導入に至った経緯について教えてください。

以前は紙とExcelに依存した伝票処理が常態化しており、「ミスが多く、業務効率が低い」という課題が顕著でした。
現場担当者からも「入力や修正でストレスが大きい」「月末処理が集中し回らない」といった声が上がリ、改善が必須と判断。
社内DX推進の一環として、現場でも開発・運用できるノーコード／ローコードツールCELfの導入を決めました。

Excel業務の1歩先へ



紙伝票・Excel運用の限界

ー[インタビュー] 従来の業務運用についてお聞かせください。

伝票作成は営業がExcelで入力、紙印刷し、課長が承認、その後業務部門が再入力という二重作業でした。
入力不備や金額不一致、履歴確認の困難さから、承認作業は常に遅延。
さらに、紙伝票は月1,000枚以上発生し、保管・処分の作業が業務の大きな負担となっていました。

クラウド管理と入力支援機能のメリット

ー[インタビュー] 実際にCELfを使ってみての印象はいかがですか。

「商品コードは、商品マスタから選択、検索できる。」「誤入力時にシステムが警告する」など、入力支援があるため現場の手戻りが激減しました。
承認フローもクラウド上で完結するため、紙の回付が不要に。
また、データベース管理により履歴が一目で追えるため、データの信頼性が格段に向上しました。



運用面の不安と解消

ー[インタビュー] 導入時に不安はありませんでしたか。

「現場で本当に開発・運用できるのか」「属人化しないか」といった懸念がありました。しかし、Excel感覚で開発できるため、社内人材でも2週間程でアプリを構築出来ました。※アジャイルに改善を続けられる仕組みにより、小さく始めて継続的に改善する文化が根付きつつあります。

※アジャイルとは、小さく作って → 動かして → 改善する を繰り返す開発手法のこと。



導入による効果

◆定量効果

- ・紙伝票の出力、保管コストを削減（1枚3円×月1,000枚超 → 数万円/月の削減）
- ・伝票入力、承認にかかる工数を削減（約15時間/月）
- ・入力ミス、差戻しの大幅減少により、基幹入力精度が向上

◆定性効果（リアルな社員の声）

（現場担当者の声）：「入力や承認が楽になり、業務ストレスが軽減した」
（課長の声）：「基幹入力ミスが減り、イレギュラー対応も大きく減った」
「外出していてもいつでも承認・登録が可能になった」
（推進担当者の声）：「CELfがないと困る、と現場から言われるほど定着している」